

2007年2月15日

報道機関各位

有限責任中間法人
日本エンジニアリングアウトソーシング協会

エンジニアリングアウトソーシング業界の健全化を推進、エンジニアのキャリアアップを支援 「日本エンジニアリングアウトソーシング協会」を発足

～アルプス技研、日本エイム、日本テクシード、フルキャストテクノロジー、メイテックが発起～

このたび、日本の製造業を支えるエンジニアリングアウトソーシング業界の業界団体として「日本エンジニアリングアウトソーシング協会」を発足する運びとなりました。当協会は、株式会社アルプス技研（代表取締役社長：池松邦彦）、日本エイム株式会社（代表取締役社長：若山陽一）、株式会社日本テクシード（代表取締役社長：森本一臣）、株式会社フルキャストテクノロジー（代表取締役社長：貝塚志朗）、株式会社メイテック（代表取締役社長：西本甲介）の5社を設立発起会社とし、エンジニアリングアウトソーシング業界の健全化と公正な企業間競争の実現を推進し、エンジニアのキャリアアップを支援することで、産業界と社会の発展に寄与してまいります。

設立協会名・活動スローガン

日本エンジニアリングアウトソーシング協会

私たちは、製造業向けアウトソーシング企業で働く人たちのキャリアアップを支援します

英文表記名称：Nippon Engineering Outsourcing Association

略称：NEOA（ネオ）

協会設立の趣旨、活動概要等については、添付の「設立趣意書」でご参照願います。

【お問合せ先】

有限責任中間法人 日本エンジニアリングアウトソーシング協会 事務局

TEL 03-5413-2627

2007年2月15日

「日本エンジニアリングアウトソーシング協会」

- 私たちは、製造業向けアウトソーシング企業で働く人たちのキャリアアップを支援します -

< 設立趣意書 >

発起人一同

1. 設立の趣旨

わが国においても、アウトソーシングということばは、今や普通名詞として使われるようになりました。これは、1990年代に、日本企業が、人・モノ・金・情報などの経営資源をすべて自前で持つというストック型経営から、外部の経営資源を、自社の経営資源補完のために利用するだけでなく、戦略的に活用していくフロー型経営に移行していく過程で生まれた新しい経営概念でもあり、すでに日本の産業界に定着してまいりました。同時に、経営資源を外部から供給する事業会社（アウトソーサー）が次々に設立され、ユーザー企業とともに、新しいビジネスモデルが、日々創出されています。アウトソーシングは、経営資源ごとに、あるいはユーザー企業の業種ごとに、事業の有り様が異なりますが、各々の分野において、すでに業界と呼ぶべき規模になりつつあります。当協会は、主に、製造業向けに「人材」という経営資源を共有するアウトソーシング・モデルを構築している事業を、エンジニアリングアウトソーシングということばで表現しています。

しかしながら、アウトソーシング業界は、新興の業界であるが故に、まだ未成熟な部分があることも事実です。未成熟であるからといって、法令や社会的ルールに違反することが許されるはずもなく、まず、アウトソーシング事業を行う各企業が、業界の健全化というテーマに真摯に向き合っていく必要があります。特に、製造業向けに「人材」という経営資源を共有するアウトソーシング・モデルを構築している、「派遣・請負」という業態の事業会社においては、新しい産業・新しいビジネスモデル・新しい働き方を構築し、広く産業界と社会に貢献していくという理念を持って事業を行っていくことが、社会的にも求められています。

また、日本の製造業が、今後もグローバルな市場競争に立ち向かっていくためには、アウトソーシングは必須のビジネスモデルであり、同時に、そこで働く一人一人が、さまざまな職業経験を積みながらキャリアアップしていく場を創りだしていくことが、本来のアウトソーシング業界の姿でもあります。そして、アウトソーシング業界が、広く人材育成の場として認知されてこそ、製造業とアウトソーシング業界の共存・共栄の関係性が構築されていきます。

業界の健全化は、すべての事業にとっての基本的なステークホルダーである、ユーザー企業と働く人々に対して、「安心」と「信頼感」を提供していくことから生まれていきます。そこで、製造業向けに「人材」という経営資源を共有するアウトソーシング事業会社の中で、こうした社会的使命に賛同し、「ユー

「ユーザー企業・当業界で働く人々・アウトソーシング事業会社」の三者の関係を、当協会の理念に基づいて構築していく事業会社、即ちコンプライアンスやガバナンスを重要視し、労働者の権利保護という人材ビジネスの基本原則を守り、人材育成に真摯に取り組んでいる事業会社によって構成された団体を立上げ、維持・運営していくことによって、業界の健全化と公正な企業間競争の実現を推進し、産業界と社会の発展に寄与していくことを、当協会の設立の趣旨といたします。そして、当協会が使用する「エンジニアリングアウトソーシング」という商標を、当協会参加企業の証とし、活動のスローガンを「私たちは、製造業向けアウトソーシング企業で働く人たちのキャリアアップを支援します」といたします。

2. 当協会の基本理念

- 1) 当協会員は、法令を遵守し、ユーザー企業と働く人々が、安心して信頼できるアウトソーシング業界を構築し、もってアウトソーシング業界の健全な発展に尽くすことにより、社会に貢献していきます。
- 2) 当協会員は、ユーザー企業との取引において、法令を遵守し、事業会社間の公正な企業間競争を行うことにより、ユーザー企業とともに発展していきます。
- 3) 当協会員は、アウトソーシング業界で働く人々が、プロフェッショナルとしての職業経験を積み、キャリアアップに取り組んでいくことを支援します。

3. 発起人

- | | | |
|----------------|---------|------|
| ・ アルプス技研 | 代表取締役会長 | 小林孝雄 |
| ・ 日本エイム | 代表取締役社長 | 若山陽一 |
| ・ 日本テクシード | 代表取締役社長 | 森本一臣 |
| ・ フルキャストテクノロジー | 代表取締役社長 | 貝塚志朗 |
| ・ メイテック | 代表取締役社長 | 西本甲介 |

*発起人代表：メイテック 西本甲介

4. 当協会の活動概要

当協会の基本理念に基づいた当協会員の企業活動の監視

- ・ 会員審査委員会の設置
会員審査委員会の設置を行い、新規入会を審査するとともに、入会後の企業活動において、当協会の基本理念に反する行為があった場合は、会員継続の適格性を審査します。
- ・ 会員証の発行
会員には会員証を発行し、会員事業の広報や広告宣伝活動等に会員証を利用することを促し、会員証の表示を、ユーザー企業と働く人々に対して、安心と信頼を提供する証しとします。

業界健全化の取り組み

- ・ 業界健全化委員会の設置

業界内で発生する諸問題、特に法令に関する問題を討議し、当協会として、その問題に対処していくためのガイドラインを設定します。

当業界の社会認知度の向上

- ・ 広報委員会の設置

当業界が、ユーザー企業と働く人々をはじめ、広く社会に正しく認知されるための広報活動を行います。また、業界で発生する諸問題に対しての当協会の見解を広報していきます。

政策提言

- ・ 政策提言委員会の設置

当業界は、新しい産業であるが故に、既存の法令と実態が乖離することもままあります。そこで、当協会の基本理念に即した政策提言活動を行っていきます。

職業能力向上の取り組み

- ・ 職業能力向上委員会の設置

当業界で働く人々が、自らの職業能力（主に技能等）を高めることにより、自らの雇用を守り、的確なキャリアアップに取り組むことを支援する活動を行っていきます。もって、わが国のものづくり力の向上と発展に寄与していきます。

5．当協会の団体としての位置づけ

当協会の活動が社会的活動であることを周知するために、任意団体ではなく、有限責任中間法人として法人格を取得する。

6．当協会の要件

製造業向けに「人材」という経営資源を共有するアウトソーシング事業を行っている事業会社であること。

当協会の基本理念に賛同して事業活動を行う事業会社であること。

当協会の基本理念に反する事業活動を行った際は、脱会することを受け入れる事業会社であること。

7．当協会の設立日

2007年2月15日

以上